

【核となるテーマ】

- 1 日本列島の大きな変革期、縄文から弥生への転換
- 2 自然と共に生きた縄文人の知恵と暮らし
- 3 縄文人の祈りと心の世界
- 4 関東甲信越や東北、西日本とつながる下布田遺跡の交流拠点

【下布田遺跡ガイダンス施設展示の章立て（素案）】

- 1 縄文時代と下布田遺跡
 - (1) 縄文時代晩期の日本列島
 - (2) 発掘調査から国史跡へ（発掘調査史と史跡指定経緯）
 - (3) どのような集落だったのか（下布田遺跡の立地と集落構成）
 - (4) 縄文時代の調布市域（縄文時代草創期～晩期にかけての調布市域）
 - (5) 縄文土器はどのような土器か
- 2 下布田の人々の生活
 - (1) 下布田の暮らし
 - (2) 下布田の人々は何を食べていたか
 - (3) 珍しい籃胎漆器
 - (4) 生活道具
- 3 祈り・祀り
 - (1) 方形配石遺構—有力者の墓か、祭祀の場か—
 - (2) 石棒集積遺構—祖先崇拝・子孫繁栄への祈り—
 - (3) 合口土器棺墓—西からの潮流—
 - (4) 遺物集中域と石鏃製作址
- 4 交わり～文化の広がり～と結節～
 - (1) 広範な地域との交流
 - (2) 精緻な装飾が際立つ土製耳飾
 - (3) 黒曜石の産地と流通
 - (4) 北と西からやってきた土器
 - (5) 製塩土器の流通
- 5 下布田遺跡周辺の変わりゆく姿
 - (1) 多摩川低地に広がる弥生集落
 - (2) 多摩川中流域の首長墓群